愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育原理		
担当者(Instructors)	武 寛子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業では、教育の歴史、思想に関する理解と知識を深め、現代社会における教育課題について批判的に考察することを目指す。 近代学校設立に至るまでの教育の理念と思想、およびその歴史について考察する。西欧諸国および日本における教育史の発展について理解を深め、現代社会における様々な教育課題について批判的に考察する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本授業は講義形式で行う。授業内容に関する課題を毎回の授業の中盤と後半で提示し、課題に取り組むことで学生との双方向的な学習を図る。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	教育学について考える	教育学が向き合う教育の変化について、今までの教育の特徴について考え、今後の教育の変化に向き合う教育学について理解する。	□
第2回	教育学的意味について考える	教育学を学ぶ意味の多様性について理解する。	□
第3回	教えることの思想史	コメニウスやヘルバルトの思想史をもとに、「教える」ことについて整理する。	□
第4回	子どもの「発見」と教育：ロック、ルソー	子どもの存在について捉えなおし、子どもの発見と教育の関係性について検討する。	□
第5回	近代学校の誕生	近代学校の目的や機能について、その誕生の背景をもとにして理解する。	□
第6回	日本における近代学校のはじまり	日本における近代教育制度のはじまりを理解する。	□
第7回	日本の教育史①：教育の大衆化	教育の拡大・普及と格差構造について理解する。学校で生まれた若者文化や教育の文化について理解する。	□
第8回	日本の教育史②：戦時下の教育と戦後の教育	戦時下における教育の変容について理解し、戦後日本の教育制度の枠組みについて整理する。	□
第9回	日本の教育史③：高度経済成長期における教育	高度経済成長と学校教育の関係の歴史について理解する。	□
第10回	日本の教育史④：教育の自由化	1980年代以降に起きた学校教育の様々な課題について理解し、教育の自由化とは何かを考察する。	□
第11回	学力について考える	現代における学力政策や教育家庭政策の動向について整理する。	□
第12回	学校と地域について考える	学校と地域をめぐる現代的な問題について理解する。	□
第13回	ジェンダーについて考える	ジェンダーの歴史について理解を深め、ジェンダーの視点からカリキュラムを整理する。	□
第14回	セクシャリティについて考える	性の多様性という観点から、児童生徒学生や、教師が直面する問題や課題を考察する。	□
第15回	学校の現在と公教育の未来について考える	学校の現在について考え、公教育がICT技術の発展とどのように関係するのかを整理する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回の授業時に提示する課題について授業中に取り組み、授業終了時に提出する。その課題解答に関連した事後学習を行う（2時間程度）。事前学習として、次回のテーマに関するテキストの該当頁を予告し、事前に目を通す（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業でリアクション・ペーパーの記入を通じて、学生の理解度を把握する。リアクション・ペーパーの内容を、次回の授業においてフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	教育の基本的概念を通して教育の原理を理解し、教育の歴史や思想の流れを通してそれらの変化を探究し、学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを説明できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	教育や学校の営みについて自己の見解を構築し、他者に表現できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の課題小レポートと（40%）と授業内での筆記試験（60%）で総合的に評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	松下晴彦他編著『教育原理を組みなおす一変革の時代をこえて』名古屋大学出版会	
2	「小学校学習指導要領」（平成29年3月告示　文部科学省）	
3	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示，文部科学省）	
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	参考書はそのつど紹介し、参考資料は必要に応じて適宜配布する。	
2		
3		
4		
5		